



月間テーマ 『 疾病予防と治療月間 』

★国際ロータリー会長 シェカール・メータ ★国際ロータリー第 2790 地区 ガバナー 梶原 等 ★第 6 グループ ガバナー補佐 亀田美穂	第 2790 地区 地区委員 ★フェロシップ 吉田理愛 ★補助金プロジェクト 久我守正 ★インターアクト 磯野典正 ★監査、R 財団資金監査 神村彰男	<b>勝浦ロータリークラブ</b> ★ 会 長 中村 吉政 ★ 幹 事 西崎 和治 クラブ会報・公共イメージ委員会 ★ 関 裕仁 、 吉田理愛
---	--	---

## 1. 会長挨拶



こんにちは。はじめに、勝浦 R C のクラブアドバイザー、鈴木覺三郎さんが今週火曜日ご逝去されました。鈴木さん、いや覺さんの方が親しみやすいので、覺さんと呼ばせていただきますが、覺さんはご自身が 40 歳の 1974 年昭和 49 年 11 月に入会され、実に 47 年間もの長きにわたり勝浦 R C に在籍されました。地区においては、情報委員会の委員長並びにクラブ奉仕委員会委員長を歴任され、地区でも大いにご活躍されました。クラブにおいては、来年我が勝浦 R C は 60 周年を迎えますが、覺さんは 40 周年の時の実行委員長としてリーダーシップを發揮し、成功裏に収めました。長年、私達後輩会員に対してご指導いただき、言わずと知れた、誰もが認める勝浦 R C のご意見番であられました。私自身、入会 1 年目の時に、「例会に出席する時には、必ずロータリーのマークの入ったものを身に付けてきなさい！」と言われたのを思い出します。また、昨年の漆原ガバナーを地区へ送り出す際にも、覺さんは、始め何があっても勝浦 R C 内を分裂させてはならないとして、大変慎重な姿勢でした。しかし、いざ勝浦 R C として正式に受ける決まったならば、全力で応援して下さいました。いかに覺さんが、勝浦 R C を愛していたのだと思いました。ご指導いただいた時には、少々うるさいな！！と思った事もありましたが、いざ、覺さんの指導が受けられないとなると少し寂しい想いと、一方で私たち会員各人がよりしっかりとロータリーを勉強していかなければならないと思いました。常に生活の中心にロータリーがあり、ロータリーをこよなく愛しておられた覺さん、心よりご冥福をお祈りいたしますと共に、これからも天国から勝浦 R C を温かい目でお見守り下さいますようお願い致します。

いよいよ 12 月、師走 1 年の締めくくりの時期になりました。一気に寒さが増しました。我が国ではようやく終息の兆しが見え始めていたコロナウイルスですが、南アフリカで更なる変異株のウイルス“オミクロン”が発生し、日本を含め徐々に世界各国に広がりを見せております。感染が拡大し、再び緊急事態宣言が発令する事がない様、切に願う次第でございます。

今月の月間テーマは、疾病予防と治療月間です。この目的は、疾病の原因と影響を減らすための活動と研修の支援です。世界中の誰にとっても健康である事は何より大切です。しかし、医療を受けられない人は世界中で 4 億人もいると言われております。そのうち、数百万人は、今現在病気によって苦しみ、貧困を強いられていますが、ロータリーは、質の高い医療を受ける権利は全世界の全ての人にあるべきだと考えています。疾病予防と申しますが、病気は何もせずに予防できるものではありません。病気の蔓延を食い止め、予防を徹底させる事に加えて、病気や衛生週間に関する市民への指導、更には医療従事者への研修などのプロジェクトを世界中のロータリーは実施しています。病気の蔓延や、医療不足に悩む地域に仮設クリニックや献血センター、研修施設を建設したり、医師と患者と政府が互いに協力できるインフラを設計するなどロータリーが支援しています。こんな大きなプロジェクトは私達には大きすぎる話で関係ないと思われる方、実は勝浦 R C の活動はそう遠いものでもないのですよ。勝浦 R C は、7 年前、スリランカに浄水施設を寄贈するプロジェクトを遂行しました。また、疾病にはケガも含まれます。疾病・病気というケガは含まれないイメージがありますが、本来は健康でない状態が病気でありますので、ケガによって日常生活に不便がおこっているならばケガも病気の一つと言えます。一昨年にフィリピン・ダバオ市の少年少女に、ヘルメットやプロテクターを寄贈する事業を行いました。これ国際奉仕活動・青少年奉仕に加えて、この疾病予防の一環であると思えます。更に、今年度の青少年奉仕活動として、ストレッチ教室を開催しましたが、これもケガ防止、つまり疾病予防活動です。もちろん、ポリオ撲滅運動もこの一環です。こうして、私たちは疾病予防活動を結構しているクラブなのです。自覚しておいて下さい。

さて、本日は、今年度はケガもなく無事にシーズンを全勝優勝という素晴らしい形で終えることができた勝浦 R C の親睦活動の一環であります、野球部の活動報告会です。積極的に地域、そして世界に貢献する奉仕活動を実践している我が勝浦 R C ですが、それら奉仕活動ができるのも、その活動を一緒にする仲間、メンバー同士の親睦があるからこそであります。親睦が根底にあるからこそ、様々な活動に対して、共に汗を流そうとメンバーが集うのです。すなわち、「奉仕」と「親睦」はロータリーの 2 本柱、今後も勝浦 R C は、この奉仕と親睦スタイルを継続していきたくらいなと思っておりますので、その点、ご理解下さいますようお願い致します。少し長くなりましたが、以上で会長挨拶を終わります。

## 2. 本日のプログラム 親睦活動委員会

### ○野球部活動報告 中村監督・中村キャプテン挨拶 ☆表彰式☆

只今、監督からご報告がありました通り、今年度、勝浦RCは、全勝優勝という形でシーズンを終えました。先週の金曜日地区の野球リーグの納会での表彰式で今年度キャプテンとしてお話をさせて頂きましたが、当勝浦RCは親睦が強いクラブであると自負しております。この野球部の活動もその一環であります。たまたま何人か野球経験者がいた事もあり、2年前に、漆原会員の声掛けにより、地区野球リーグに参戦しました。初年度は、8勝1敗のリーグ2位、2年目の昨年度は、コロナの影響で、交流試合として、一昨年度の上位4チームと下位4チームに分かれてのリーグ戦でした。この交流試合では、上位4チームリーグで全勝しましたが、あくまでも交流試合でありましたので、順位はつきませんでした。

そして、昨年度のシーズン終了後、毎試合、野球部の応援に駆けつけてくれていて、試合終了後の反省会でのお酒の席でのネタ探しも含めて毎試合での選手のプレーをよく見て下さっていた中村満会員が、試合に出た選手間の推薦により、今年度、勝浦RC野球部の監督に就任されました。もちろん、野球のルールなどはよくわかっているものの、野球経験者ではない監督からの、今シーズンの目標は、一言すばり『優勝』でした。とにかく、監督は、優勝・優勝と口酸っぱくおっしゃっておられましたので、選手もみな実は心の中で大きなプレッシャーを感じながらも、やはり優勝を目指していました。

当勝浦RC野球部は、平均年齢は54歳と他クラブと比べて若干若めですが、登録メンバー19名のうち、学生時代に野球を経験していた者が5名、中学までが2名でして、野球経験していなかった者が12名です。つまり、毎試合スタメンには野球未経験者も必ず含まれています。他のクラブのメンバーを見ますと、年齢は重ねていても、基本スタメンはほぼ野球経験者でしたし、勝浦の様に単独クラブでは人が集まらないので、近隣クラブの野球が好きなロータリアンを集めて構成されたチームなどが多かったです。

その様な中、当勝浦RCの今シーズンが始まりましたが、先ほど話しました野球未経験者も、もちろん監督のプレッシャーを仰ぐ選手でありますので、試合前に自主練習をしたり、イメージトレーニングをしたりと、各々試合に向けた準備をして毎回試合に臨んでおりました。私は、今シーズン選手間推薦によりキャプテンを指名されました。キャプテンの主な仕事は、地区リーグ事務局ならびに他チーム、審判との試合日程調整と、雨天などで試合が延期された際の球場の手配、そして、試合日における自チームの選手の確保など、多岐に亘ります。試合日程には、6月から7月の梅雨時期も含まれますし、7月から8月の猛暑時期も含まれます。また、今シーズンは、8月から9月までの緊急事態宣言発令など、とにかくイレギュラー続きでした。優勝しなさいとの監督指令がありましたので、とにかく、試合日程に選手9名が集まらない不戦敗だけは避けたいと、出来る限り多くの選手が参加できる日程と場所を勝浦主導で提案しました。その結果、相手チームの人数集まらないための不戦勝を含め、全勝で優勝する事ができました。優勝も、圧倒的ではなく、ヒヤヒヤの試合もありました。が、なにはともあれ、全勝で優勝する事ができ、監督を胴上げする事ができました。



#### ○中村監督挨拶

今年は絶対優勝を強く掲げていました。やってくれました。皆様がんばってくれました。後の説明はすべてキャプテンが行ってきます。よろしくお願いたします。

#### ○プレゼンター

第2790地区野球リーグ次期会長の漆原瑛子君より優勝旗授与。

- 個人最優秀賞 渡邊昌俊君
- 最優秀賞投手賞 溝口次郎君
- 優秀選手賞 林昌鑑君
- 最優秀監督賞 中村満君
- 優勝メダル授与 部員全員





## 2. 本日のプログラム

### ○委員会報告



#### ○親睦活動委員会 佐久間淳宏君

先日行われた勝浦中学校野球部との練習試合、そして優勝祝勝会 1部 2部と参加された皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



#### ○クラブ研修委員会 渡邊昌俊君

健康セミナーの御案内です、以前の卓話で来ていただいた杉本先生が行います。セブンイレブンのお弁当の栄養管理士を行っている方です。法政大学野球部の栄養管理も行っていて、プロ野球選手の栄養管理も行われています。皆様是非セミナーをお聞きください。



### ○ポールハリスフェロー バッジ授与

○村石愛二君 8回 ○千葉正徳君 8回 ○中村満君 7回 ○関正夫君 5回 ○吉田理愛君 2回 ○中村吉政君 1回



### 3. 幹事報告

#### 次回例会予定

- 12月10日 クラブ協議会  
(クラブ年次総会)
- 12月17日 夜間例会  
(クリスマス家族夜間例会)
- 12月24日 クラブ協議会  
(ニコニコアワー)
- 12月31日 休会  
(年末のため)
- 1月7日 夜間例会  
(新春賀詞交歓会)
- 1月14日 クラブ協議会  
(職業奉仕委員会)
- 1月21日 卓話例会  
(会員卓話)
- 1月28日 卓話例会  
(ゲスト卓話)

例会日：毎週金曜日

例会場所：ホテル ブルーベリーヒル勝浦  
勝浦市興津1920  
TEL：0470-76-3400

事務局：勝浦市串浜1193-2  
西崎和治 方  
TEL：0470-73-5207  
FAX：0470-73-5504



○地区よりガバナー月信 12月号が届きましたので配布させていただきました。携帯電話のLINEをされていない方でご希望の方はお申し出ください。

○12月のロータリーレートは1ドル114円です。

○国際ロータリー日本事務局よりバッジが届いています。

#### 4. 第6回理事会

《議 題》

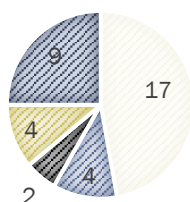
- 第1号 地区補助金事業について(国際奉仕委員会)  
フィリピン側の荷物の受け入れが困難なため、今年度の地区補助金事業は中止とし、補助金は返金する。次週の委員会報告にて溝口国際奉仕委員長が報告する。
- 第2号 プログラムについて(プログラム委員会)  
1月28日の卓話例会はガバナーノミー鷗沢さんか、デジグネートの寒郡さんに依頼する。
- 第3号 クリスマス家族夜間例会について(親睦委員会)  
次週の親睦委員会にて担当など決定する。市長欠席の場合は会長が祝辞を代読する。他は特に問題なし。
- 第4号 親睦研修旅行について(親睦委員会)  
参加費5万円程度で、行き先に鹿児島県知覧特攻会館を追加し締切日を12月31日とする。
- 第5号 勝浦RC委員会の再編について  
職業・社会・国際・青少年奉仕委員会を一つの奉仕委員会とすることを、次周年次総会にて諮る。

第6号 ビジョン声明について(戦略計画委員会)  
次週のクラブ協議会にて告知し承認を求める。

第7号 その他

#### 出席報告

■出席者 ■MU ■ZOOM ■欠席者 ■免除



会員数 36名  
出席率 88.8%

出席委員長：岩瀬洋男